

教育委員会だより

令和7年10月23日号 多治見市教育委員会 教育総務課

くめず子ども像>
お互いを尊重し、
主体的に学び、
挑戦する多治見の子

準備が着々と進行中！ ～笠原小中学校開校～

令和8年4月の笠原小中学校の開校に向け、準備はハード・ソフト両面で予定通り着実に進んでいます。10月18日（土）には保護者説明会を開催し、教育委員会及び両学校から、小中一貫教育の魅力や工事の進捗状況、学校の教育目標などを説明しました。

子どもたちが安全で快適に学べる新校舎の建設は、現在、工事が順調に進んでいます。

（約63%）最新の設備と、小中一貫教育を見据えた設計により、学びの質を高める環境が整いつつあります。完成がとても待ち遠しいです。ソフト面では、すでに両校の合同活動を積極的に展開しています。先日開催されたスポーツフェスティバル（運動会＋体育大会）では、小学生と中学生が手を取り合い、互いに教え合い、励まし合う姿が見られました。上級生としての責任感や、異年齢交流から生まれる豊かな学びが、すでに芽吹いています。

また、学校運営協議会やPTA活動についても、両校合同での実施を重ね、開校後の円滑な学校運営に向けた体制づくりが順調に進んでいます。その他、毎日の日課や年間行事、体操服や制服、上靴やかばんなどの持ち物の詳細な説明を聞きながら、保護者の皆様も来年に迫った開校に向けて徐々にイメージが膨らんだことと思います。

「笠原小中学校」は、子どもたちの未来を育む地域の大切な財産となります。開校までの残された期間、万全の準備を進めてまいります。新しい学校で輝く子どもたちの笑顔いっぱいの姿を期待しています。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



「学ぶ喜び」を実感 ～陶都中学校研究発表会～

9月25日（木）に陶都中学校の研究発表会が開催されました。多治見市教育委員会の指定を受け、2年に亘る教育実践の成果を公表しました。市内小中学校を中心に他市からの参加を含め200名以上の参観者があり、教職員のほかにも教育委員や多治見市正副議長、市議会議員の皆様にもご参加いただき、生徒たちが一生懸命授業に取り組む様子を参観していただきました。どの公開授業でも、陶都中学校が大切にしている“学ぶ喜びを実感できる授業”の具現に向けたこれまでの営みを、生徒と先生方が一体となって50分間の学びの姿で示してくれました。



各教科の授業研究会においては、参観者から様々な質問や意見が出され、授業者もこれまでの実践をもとに、自分の思いを伝え、議論を深めていきました。教育の手法の「正解」は1つにまとまらないと思います。しかし、それぞれの教科の特性や個々の経験をもとに、個人追究や協働学習の進め方について意見を交わすことによって、よりよい教師の指導や子ども主体の学習の在り方について考えることができます。その意味において、今回の発表会は先生方が多くを学び得た機会であり、多治見市全体の教育の充実に資するものであったと思います。子どもたちとともに質の高い学びの姿をお示しいただいた先生方の歩みに改めて敬意を表したいと思います。

よろしくお願いします ～新教育委員さんのご就任～

9月末をもって退任された大嶽和好さんの後任として、新たに伊藤芳博さんが委員に就任されました。10月1日の就任からひと月が経とうとしていますが、さっそく教育長訪問への同行、笠原小中学校の工事視察など、精力的にご活動いただいています。少し前になりますが、8月21日、9月議会の初日終了後に議場でご挨拶いただきました。これまでのご経験をもとに教育に対する熱い思いを語られ、議員・執行部からは大きな拍手が湧き起こりました。

下半期からのご就任ですので、今年度の園・学校への教育長訪問はかなり進んでしまっていますが、できるだけ市内の教育現場を知っていただき、これからの多治見市教育の発展のためにお力添えいただきますよう、どうかよろしくお願いします。